
統合 EDI 製品「ACMS シリーズ」が Amazon RDS に対応 ～インターネット EDI への移行を前にクラウドでの EDI 構築・運用を簡素化～

株式会社データ・アプリケーション（本社：東京都中央区、代表取締役社長：武田 好修、略称：DAL、JASDAQ：3848）は、企業データをシームレスに連携する B2B インテグレーション・サーバ「ACMS E²X」と企業間電子商取引に対応する B2B サーバ「ACMS B2B」の最新版バージョン 4.6 を、1月31日より販売開始いたします。

最新版では、クラウド上でリレーショナルデータベースのセットアップ、運用およびスケーリングを容易に行えるマネージドサービス「Amazon Relational Database Service（以下、Amazon RDS）」に対応し、クラウド上で EDI 環境が短時間で構築できるようにし、運用の簡素化を図りました。また、インターネットに対応した通信プロトコルである ebXMS MS と EDIINT AS2 の送受信において、電子証明書の暗号化方式を SHA-2 に対応するなど、よりセキュアなデータ交換を実現しました。

■インターネット EDI へ移行する背景

2010年11月、NTT 東日本、NTT 西日本は、2020年度後半を目途に公衆電話回線網（公衆回線と INS ネット）を、IP 網に順次移行すると発表しました。これは同時に JCA 手順や全銀手順、全銀 TCP/IP 手順といった従来型 EDI が使っている INS ネット（ISDN）デジタル通信モードの終了を意味しています。これに伴い、従来型 EDI を利用している企業は、インターネット EDI へ移行するなど対策が必要になります。

一方で、昨今、設備投資の削減、BCP 対策といった理由から、EDI システムの構築環境にクラウドが選択されるケースが増えてきています。

■インターネット EDI への移行を促進

こういった状況を踏まえ、従来型 EDI からインターネット EDI への移行作業をスムーズに進めていただくため、最新版ではクラウド上に短時間で EDI 環境が構築できるよう Amazon RDS に対応しました。

また、国内 EDI の主要な通信プロトコルの全銀 TCP/IP を使っている場合なら、既存のアプリケーションを改修することなく、インターネット EDI へ移行できる通信プロトコルを既に提供しています。この通信プロトコルは、全銀 TCP/IP 手順を SSL/TLS プロトコルで暗号化する標準仕様を利用したもので、セキュアなデータ交換を行います。

ACMS シリーズは、流通、金融、製造と様々な業界にて 2,000 社 9,000 サイトを超える導入実績があり、インターネット EDI においても、クラウド／オンプレミスの両方で EDI 環境の構築を短期間、セキュアに実現していきます。今回の主な新機能は以下の通りです。

1.データベースのサポート

- Amazon Aurora (MySQL 互換)
- Amazon RDS for SQL Server
- Amazon RDS for Oracle
- Amazon RDS for PostgreSQL
- Amazon RDS for MySQL
- SQL Server 2014 SP2
- SQL Server 2016
- PostgreSQL 9.6

2. 電子証明書の SHA-2 対応

SHA-2 に対応したのは、インターネット上で使われる通信手順 ebXMS MS と EDIINT AS2 です。ebXMS MS 通信手順では、デジタル署名を行う際の署名アルゴリズムとハッシュアルゴリズムで SHA-2 をサポート、また、EDIINT AS2 通信手順では、署名アルゴリズムと MIC アルゴリズムで SHA-2 をサポートしました。

3.その他のサポート

- Microsoft JDBC Driver 6.0 for SQL Server
- Tomcat 8.5

DAL は、今後も、国内外の EDI 市場のニーズ・環境に合わせて、新しい稼働環境を「ACMS シリーズ」でサポートし、それらを一元管理できる統合 EDI 環境を充実させていきます。

以上

◆販売・価格について

◇販売・出荷開始：2017 年 1 月 31 日

◇販売価格（税別）：

ACMS E²X 150 万円（基本機能）～

ACMS B2B 50 万円（基本機能）～

◇販売経路：DAL のビジネス・パートナー73 社を通じて販売 <http://www.dal.co.jp/partner/>

【株式会社データ・アプリケーション（DAL）について】

DAL は、1992 年に最初の UNIX 向けの製品をリリースして以来、EDI（電子データ交換）を中心にシステム連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェアを自社開発し、国産ソフトウェアベンダとして EDI パッケージ市場でリーダーシップを確立。2007 年 4 月にジャスダックに上場しました（JASDAQ: 3848）。

DAL の「ACMS（Advanced Communication Management System）シリーズ」は、国内 73 社のビジネス・パートナーを経由して販売され、すでに 2000 社 9000 サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ACMS シリーズは、基幹システムと連携した B2B 環境を容易に構築できる B2B サーバ「ACMS B2B」をはじめ、企業内外のデータ連携を行う B2B インテグレーション・サーバ「ACMS E²X」など、システム規模・接続ニーズに応じた製品ラインアップを揃えています。また、システム連携では不可欠なデータのフォーマットや文字コードの変換・加工を行うデータ ハンドリング プラットフォーム「RACCOON」を 2014 年 3 月から提供しています。

【HP】 <http://www.dal.co.jp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/DataApplications/>

【Twitter】 https://twitter.com/dal_acms

【本件についてのお問い合わせ先】

報道関係	お客様
マーケティング本部	営業本部
Tel : 03-5640-1437	Tel : 03-5640-8544
Fax : 03-5640-8541	Fax : 03-5640-8541
E-Mail : pr@dal.co.jp	E-Mail : sales@dal.co.jp

※DAL, ACMS, AnyTran, E²X, WebFramer, RACCOON は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。

※ アマゾン ウェブサービス、AWS、Amazon RDS は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。